

## 第2章 上毛電鉄（西桐生～中央前橋）

### 第1節 1日目：5月4日（日）：上毛電鉄 曇り

西桐生(9:30)～丸山下(?)～富士山下(10:26)～天王宿(10:50)～桐生球場前(11:10)～赤城(11:58)～東新川(12:33)～新川(につかわ、13:04)～新里(13:36)～膳(14:05)～粕川(14:23)～新屋(15:08)～北原(15:42)～樋越(16:03)～大胡(16:46)～江木(17:42)～心臓血管センター(17:53)～赤坂(18:15)～上泉(18:45)～片貝(19:02)～三俣(19:18)～城東(19:31)～中央前橋(20:05)

2008年5月4日（日）みどりの日と5月5日（月）こどもの日の両日、東横イン前橋宿泊つきで上毛電気鉄道と上信電鉄のつたい歩きに挑戦する。本来ならば、5月3日（土）～4日（日）にかけて実施予定であったが、生憎3日の憲法記念日は雨のため、1日日程をずらし対応する。本年から法律が変わり5月6日（火）が振替休日となったので今回のチャンスが生まれた。3日の日は小雨の中、ハーフマラソンに挑戦したが、17Km位辺りで急な坂と路に迷ったため戦意喪失もありダウン。そのあと急な坂部分を1Km位歩き再度走ろうとするが足が痙攣を起こし動かず。家内に現場まで車で迎えに来てもらうハプニングがあり。しかし、2時間位休息し回復する。それで今回の挑戦が可能となる。今は健康管理を何よりも大切に感じる年齢に達した。健康がなければ心身共にひ弱になるのに加え、将来にわたり豊かな楽しい人生を送りにくいと考えたからである。健康は日々鋭意努力しなければ堅持できないことを痛切に感じる年頃に達したこともあろう。

5月4日（日）、4時半に起床。天気予報に反し曇り空であった。できれば5月6日（火）のような晴天の中でウォーキングをしたかったが。自宅を5時半に出、以下のダイヤで桐生まで移動する。そこから5分位歩いて上毛電気鉄道の西桐生駅に向かう。

南林間（5時48分）→新宿（6時52分）→赤羽（7時10分）

→小山（8時28分）→桐生（9時27分）

両毛線は4両編成の単線。両毛線に乗るのは久しぶり。駅名はかなり忘れかけていた。犬が駅前にいた小俣駅は昨日のように思い出される。連休のため小山駅で満席な状況であった。途中富田駅で沢山の乗客がおり、車内はゆったりする。私の前にバナナやみかんを上手に食べる女性（35歳位）がいたので非常にいい勉強（上品な食べ方）をさせてもらう。



西桐生駅

桐生駅で5,000円パスモチャージする。新宿から桐生まで2,210円要する。桐生駅（9時半）を写真に撮ろうとするが、生憎電池切れとなる。駅に戻り売店で専用の電池を購入しようとするが置いておらず。売店の人に聞いたところ上毛電鉄の駅前にコンビニがあるとのことで安堵する。9時40分、セブンイレブン西桐生駅前店に立ち寄りパナソニックカメラ用電池CR2を購入する。セブンイレブンと目と鼻の先に「関東の駅百選認定駅」の看板がある西桐生駅に到着する。駅舎は何となく芸術観にあふれていた。駅に到着するや上り電車（前面が赤）が発車する時間であったので、女性の駅員さんから「お乗りになるのですか」と声をかけられる。「NG」と応える。木製でできた改札ドアを閉め、電車は中央前橋に向け発車する。上毛電鉄は桐生と前橋をつなぐ有力の足であることが、今回のウォーキングでわかった。ダイヤも1時間に2～3本あり両毛線より多く利用価値が高いような気がした。車両は2両編成で先頭と末尾の部分が赤・紫・黄・空色等のカラフルな電車で構成されていた。



西桐生駅ホーム 風光明媚な橋

本日はうっかりしてCDウォークマンを忘れる。そのため主として米国基地向け者用のラジオを聴きながらのウォーキングとなる。いよいよ中央前橋までの25.4Kmの挑戦が9時45分から始まる。鉄道の左側を暫く歩く。10時10分、上毛電鉄で唯一クリアできなかった丸山下駅を探そうとしていた頃、携帯に電話が入り、高校の同窓の西田さんから6月14日（土）～15日（日）実施の駿豆線つたい歩き（修善寺温泉宿泊）の参加申込を頂く。丸山下駅はいくら探しても見当たらないため断念する。10時15分万歩計で325歩の赤岩橋を通過。引越しに関するTBSラジオを聴きながら風光明媚な橋を渡ることになる。富士山下

駅には 10 時 26 分到着。

第 103 号踏切道を渡り鉄道の左側を歩く。小倉クラッチ（株）や桐生市立相生幼稚園前を 10 時 37 分通過。本日は鉄道に沿った幹線道路がなく、のこぎり型で道路を繋ぎながら進むことを余儀なくされる。従って、営業キロに比べ相当遠回りとなり、踏切を何回も渡りながら中央前橋駅までつたい歩きをすることになる。また、西桐生から中央前橋までの営業キロ 25.4Km の間に 21 個もの駅があり、通り過ぎないように細心の注意を払うことも余儀なくされる。



駅舎なしの天王宿駅には 10 時 50 分到着。中央前橋駅行きの上り電車が来る。直ぐ近くに第 99 号踏切道がある。頭上 3 m 位の鉄道の右側に沿って歩く。この近郊は昨年東武桐生線つたい歩きできたことがある。11 時 3 分わたらせ鉄道の第一相老踏切を横切る。珍しく踏切がおり前方も茶色の 1 両の非電化車両が通過して行く。前回誤って来た桐生球場前駅には 11 時 10 分到着。東武鉄道のの上り特急両毛号が通過して行く。



桐生球場前駅から赤城駅まで区間東武鉄道と上毛電鉄が併走する。途中で路が途切れ国道 122 号に少し出た先ののんき食堂の手前を左折、第 94 号踏切道を横切り東武・上毛鉄道の左側に出る。その通りは東武桐生線踏破の際通った如来堂大間々線（11 時 37 分）であった。ただし、逆方向の歩きであったので新鮮味は残っていた。東武・上毛の踏切を横切り鉄道の右側に出る。その先をほぼ真っ直ぐ進んだ先に赤城駅（11 時 58 分）があった。



赤城駅



東新川駅 新川駅

前回駅舎の中は七夕の飾りをしていたが、本日は5月4日ということで鯉のぼりが飾られていた。そう言えば本日はどこの町並みも鯉のぼりと柏餅一色であった。赤城駅前の第92号踏切道(12時1分)を横切り鉄道の左側に出る。12時12分、高松斎苑前を往来し鉄道の方向を確認する。結局真っ直ぐ県道3号線を進む。12時33分、東新川(につかわ)駅に到着。1Km先の新川駅には10分ロスした関係で13時4分到着。13時7分、群馬銀行前で前橋18Km、粕川4Kmの道路標識前を通過。13時30分、合併前には本所であったと思われる桐生新里(にいさと)支所前を通過。13時33分鏑木川辺りで燕を見かける。巣作りで忙しそうであった。駅舎のある新里駅には13時36分到着。上り電車が来る。



新里駅 膳駅

13時50分、桐生市から前橋市となる。この辺りの標高は1,816mとあった。13時56分蕨沢川(わらび)を渡った先に膳駅(14時5分)がある。第67号の踏切道を横切り左側に出る。駅舎の看板が青色である印象的な粕川駅には14時23分到着。この駅には檜造りのトイレがあった。駅前にはJA前橋粕川支所があった。14時34分、かつて両毛線で横切

った記憶のある粕川を 14 時 34 分通過。この粕川橋は万歩計で 61 歩あった。少し行った先の粕川町女淵の交差点の道路に面し楕円形（80m×50m位）のため池あり。故郷香川ではよく見かけるが、その他の県では余り見かけないので、故郷を思い出す機会を得た。そろそろ新屋駅（あらや）と思ひ県道 3 号線を右折し鉄道に近づく。第 64 号踏切道を横切り鉄道の右に出る。幾ら行っても駅らしいホームが見えてこないのを通り過ぎたのではないかと心配する。しかし、神社の前にウォーキングのコースが掲載されており、近郊に新屋駅があるのを確認できほっとする。新屋駅には 15 時 8 分到着。



黄色い下り電車が丁度来る。第 59 踏切道を渡り鉄道の左側に出る。近くの田園には麦が青々と成長していた。あと数週間で麦刈りの収穫期であろう。15 時 30 分、正面に袋小路が見え駅と思って近づく。しかし、駅ではなくがっかりする。上毛電鉄は上信電鉄のように主要道路からの駅への案内板が殆どない。それ故行き過ぎないようにするため、無駄な歩きをたびたび余儀なくされる。しかし、本日は最初の西桐生と JR 前橋駅への確認以外はこれまでのウォーキング体験談により何とか自力で対応できる。第 54 号踏切道を渡った先に北原駅（15 時 42 分）があった。丁度空色の上り電車が来る。

暫く線路に沿って歩き、第 51 号踏切道（15 時 51 分）を横切り鉄道の左側にして県道 3 号線に戻る。そろそろ樋腰（ひごし）駅と予想したところ、運良く樋腰駅への案内板があった。右折し真っ直ぐ行った先の第 48 号踏切道を渡ったところに樋腰駅（16 時 3 分）があった。この駅に着くや否やピンク色の下り電車が来る。鉄道に沿って歩く。この区域は高台にあり、前橋市外にある高層ビルが見える。16 時 28 分、第 42 号踏切道を横切り鉄道の左側に出る。行き止まりとなる。閉鎖したパーラマリオンパチンコ屋前を通り県道 3 号

線に戻る。川絡みの複雑な道路を通り抜け、大胡（おおご）駅には 16 時 46 分到着する。



大胡駅前公園 大胡駅

駅舎は老朽化していたが、駅前には近代的な大胡駅前公園があり直径 5 m 位の水車が設置されていた。大胡駅には上毛電鉄の列車区事務所と車庫があった。数両の電車が止まっていた。16 時 55 分、第 39 号踏切道を横切り鉄道の左側に出る。コスモガソリンスタンドがあった。17 時 8 分、鉄道下を潜る。江木駅には 17 時 32 分到着。



江木駅 心臓血管センター駅

群馬県立心臓血管センター前を通り、600m 先の心臓血管センター駅には 17 時 53 分到着。複雑な路地だった。辺りは暗くなりかけていた。ここからは鉄道の右側を主として歩く。18 時 15 分、迷わず赤坂駅に到着。17 時 35 分、桃の木川を渡る。18 時 45 分、上泉(かみいずみ)駅到着。以下の通り夜道を歩き、片貝駅 (19 時 2 分)、三俣駅 (19 時 18 分)、城東駅 (19 時 31 分) を経由し、中央前橋駅には 19 時 50 分にやっと到着する。



赤坂駅

上泉駅



片貝駅

三俣駅

中央前橋からケヤキの幹に提灯がつけられた駅前通りを通り、JR 前橋駅には 20 時 5 分到着。本日泊まる東横インホテルが JR 前橋駅を少し越えた先に見えたのでほっとする。ホテル（203 号室）には 20 時 13 分に到着。チェックインを済ませ、駅前の吉野家でここ数ヶ月我慢していた待望の牛丼を食べる。ホテルには 20 時 46 分に戻り、本日の歩きはアップする。万歩計で久しぶりに 71,890 歩と 7 万歩を超える。



城東駅



ケヤキ通り

東横イン前橋

## 第2節 2日目：5月5日（月）：上信電鉄（下仁田～西吉井）

第3章参照